

## 2023年8月期 中間決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年4月27日

上場会社名 株式会社マルク 上場取引所 東  
 コード番号 7056 URL <http://maruc-group.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北野 順哉  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 武智 弘泰 (TEL) 089(989)1009  
 中間発行情報提出予定日 2023年5月31日 配当支払開始予定日 ー  
 中間決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 中間決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年8月期中間期の連結業績 (2022年9月1日~2023年2月28日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は、対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期中間期	263	—	△59	—	△36	—	△36	—
2022年8月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2023年8月期中間期 △37百万円 (—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期中間期	△52.50	—
2022年8月期中間期	—	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益は、潜在株式が存在せず、また、1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

2. 当社は、2022年8月期中間期においては中間連結財務諸表を作成していないため、2023年8月期中間期の対前年同期増減率並びに2022年8月期中間期の数値及び対前年同期増減率を記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期中間期	474	43	8.5
2022年8月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2023年8月期中間期 40百万円 2022年8月期 ー百万円

(注) 当社は、2022年8月期においては連結財務諸表を作成していないため、2022年8月期の数値を記載しておりません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期	0.00	0.00	0.00
2023年8月期	0.00		
2023年8月期(予想)		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年8月期の連結業績予想 (2022年9月1日~2023年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	589	—	△76	—	△52	—	△54	—	△78.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間連結会計期間における重要な子会社の異動  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
 新規 1社 株式会社ミライデザイン GX 、除外 ー
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理及び簡便な会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2023年8月期中間期	700,000株	2022年8月期	700,000株
2023年8月期中間期	ー株	2022年8月期	ー株
2023年8月期中間期	700,000株	2022年8月期中間期	700,000株

※中間決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、中間決算短信 (添付資料) 3ページの「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結株主資本等変動計算書	7
(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(連結の範囲または持分法適用の範囲の変更)	9
(セグメント情報)	9
(1株当たり情報)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当中間連結会計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルスに対するワクチン接種の進展等により感染者数が抑制されたことに伴い、消費や投資が拡大傾向となる等、経済活動正常化の動きが見られました。しかしながら、その一方でロシア・ウクライナ情勢に起因する資源価格の高騰や急速に進行した円安等の影響による物価上昇もあり、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社は就労継続支援A型事業・放課後等デイサービス事業・自立訓練（生活訓練）事業を中心に、既存事業所での利用促進等の活動を進めてまいりました。また、障害者雇用納付金制度に基づく報奨金等による収入22,595円を営業外収益に計上しました

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は263,105千円、営業損失は59,718千円、経常損失は36,923千円、親会社株主に帰属する中間純損失は36,750千円となりました。

当社は当中間連結会計期間より中間連結財務諸表を作成しているため、前年同期との比較分析は行っておりません。（以下においても同じ。）

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (流動資産)

当中間連結会計期間末における流動資産の残高は、428,022千円となりました。

##### (固定資産)

当中間連結会計期間末における固定資産の残高は、46,858千円となりました。

##### (流動負債)

当中間連結会計期間末における流動負債の残高は、96,668千円となりました。

##### (固定負債)

当中間連結会計期間末における固定負債の残高は、335,090千円となりました。

##### (純資産)

当中間連結会計期間末における純資産の残高は、43,123千円となりました。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の残高は、339,235千円となりました。各キャッシュ・フローの状況と主な要因は以下のとおりです。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純損失36,923千円、減価償却費5,673千円等を計上したことにより、33,133千円のマイナスとなりました。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の償還による収入100,000千円等により、99,294千円のプラスとなりました。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入60,000千円、長期借入金の返済による支出16,646千円により、43,354千円のプラスとなりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年8月期の通期の業績予想につきましては、障がい福祉事業において利用者の増加が予想を下回ったこと等から売上高、営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する当期純損失が、それぞれ前回予想を下回る見通しとなりましたので、業績予想を修正いたしました。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 642	百万円 △46	百万円 △26	百万円 △28	円 銭 △40.85
今回修正予想 (B)	589	△76	△52	△54	△78.11
増減額 (B-A)	△53	△30	△26	△26	△37.26
増減率 (%)	△8.3	—	—	—	—

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 3. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (2023年2月28日)
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	339,235
売掛金	82,923
その他	5,863
流動資産合計	428,022
固定資産	
有形固定資産	
建物（純額）	18,829
その他（純額）	4,861
有形固定資産合計	23,690
投資その他の資産	
敷金及び保証金	16,210
その他	6,957
投資その他の資産合計	23,167
固定資産合計	46,858
資産合計	474,881

（単位：千円）

当中間連結会計期間

（2023年2月28日）

負債の部	
流動負債	
1年内返済予定の長期借入金	37,832
未払金	23,580
未払費用	29,965
未払法人税等	962
未払消費税等	2,298
その他	2,030
流動負債合計	96,668
固定負債	
長期借入金	335,090
固定負債合計	335,090
負債合計	431,758
純資産の部	
株主資本	
資本金	10,000
資本剰余金	155,000
利益剰余金	△124,691
株主資本合計	40,308
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△50
その他の包括利益累計額合計	△50
非支配株主持分	2,865
純資産合計	43,123
負債純資産合計	474,881

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## ①中間連結損益計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
売上高	263,105
売上原価	223,911
売上総利益	39,194
販売費及び一般管理費	98,912
営業損失(△)	△59,718
営業外収益	
受取利息	205
助成金収入	22,595
その他	654
営業外収益合計	23,455
営業外費用	
支払利息	659
営業外費用合計	659
経常損失(△)	△36,923
税金等調整前中間純損失(△)	△36,923
法人税、住民税及び事業税	962
法人税等合計	962
中間純損失(△)	△37,885
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△1,134
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△36,750

## ②中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
中間純損失(△)	△37,885
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△34
その他の包括利益合計	△34
中間包括利益	△37,919
(内訳)	
親会社株主に係る中間包括利益	△36,785
非支配株主に係る中間包括利益	△1,134



## (3) 中間連結株主資本等変動計算書

当中間連結会計期間（自 2022年9月1日 至 2023年8月31日）

(単位：千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	92,500	72,500	△87,940	77,059
当中間期変動額				
減資	△82,500	82,500		—
親会社株主に帰属する 中間純損失（△）			△36,750	△36,750
株主資本以外の項目の当 中間期変動額（純額）				
当中間変動額合計	△82,500	82,500	△36,750	△36,750
当中間期末残高	10,000	155,000	△124,691	40,308

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	△16	△16	—	77,042
当中間期変動額				
減資				—
親会社株主に帰属する 中間純損失（△）				△36,750
株主資本以外の項目の当 中間期変動額（純額）	△34	△34	2,865	2,830
当中間変動額合計	△34	△34	2,865	△33,919
当中間期末残高	△50	△50	2,865	43,123

## (4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当中間連結会計期間	
(自 2022年9月1日	
至 2023年2月28日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純損失 (△)	△36,923
減価償却費	5,673
受取利息	△205
支払利息	659
売上債権の増減額 (△は増加)	2,432
未払金の増減額 (△は減少)	△6,845
未払費用の増減額 (△は減少)	△461
未払消費税等の増減額 (△は減少)	665
その他	2,154
小計	△32,852
利息の受取額	205
利息の支払額	△659
法人税等の支払額	△1,017
法人税等の還付額	1,188
営業活動によるキャッシュ・フロー	△33,133
投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の償還による収入	100,000
その他	△705
投資活動によるキャッシュ・フロー	99,294
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	60,000
長期借入金返済による支出	△16,646
財務活動によるキャッシュ・フロー	43,354
現金及び現金同等物の増加額 (△は減少)	109,515
現金及び現金同等物の期首残高	219,720
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	10,000
現金及び現金同等物の中間期末残高	339,235

## (5) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲または持分法適用の範囲の変更)

2022年9月1日共同出資設立による株式取得に伴い、株式会社ミライデザインGXは当中間連結会計期間より連結子会社となりました。

(セグメント情報)

当社グループは、「障がい福祉サービス事業」を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については量的重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

当中間連結会計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	
1株当たり純資産額	57円51銭
1株当たり中間純損失(△)	△52円50銭

(注) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式がなく、また、1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

1株当たり中間純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当中間連結会計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
親会社株主に帰属する中間純損失(△)(千円)	△36,750
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する中間純損失(△)(千円)	△36,750
普通株式の期中平均株式数(株)	700,000
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり中間純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。